

管理栄養士の卵が挑む!!「KAWAI BLACK」普及プロジェクト

畿央大学 健康科学部 健康栄養学科 2年
松岡香萌梨 松本実優 三浦彩加 柳瀬美羽

1. 目的

河合町産ブランド黒枝豆「KAWAI BLACK」は、認知度や消費が限定的であり、特に若年層や町外への価値訴求が課題となっている。
そこで、河合町の地産地消と新たな需要創出及び、地域ブランディングの効果を検証することを目的に、大学生の食育ボランティアサークルである“ヘルスチーム菜良”が大学生らしい発想をもとに地元のプロのパティシエと協働による「KAWAI BLACK」を使った健康志向スイーツの開発に取り組み、学園祭での販売を行った。



2. 実施内容

管理栄養士を目指す学生で構成された食育ボランティアサークルである“ヘルスチーム菜良”は、河合町の特産品である「KAWAI BLACK」黒枝豆を使った健康志向スイーツづくりについて、下記のとおり取り組んだ。

【商品開発】

学生で「KAWAI BLACK」を使用し開発した「枝豆」「きなこ」「チョコバナナ」3種類の豆乳ドーナツレシピを、河合町役場内のPatisserie TRICO本店に提案した。TRICOと打ち合わせや試作を重ねる中で、当初は黒枝豆をそのまま生地に混ぜ込んでいたが、助言を受け、より色味が美しく映える“ずんだ”へ加工する方法に変更した。

【学園祭での販売】

学園祭当日に模擬店で豆乳ドーナツの販売を行った。新たな需要創出を目的としていることから若い世代が重要視する「SNS映え」することを狙いに、TRICOの指導のもと、お客さんの目の前でドーナツの仕上げを行う「魅せ方」にこだわった演出を行って販売した。河合町と連携しながら、ブース横で「KAWAI BLACK」の生枝豆の販売も同時に行い、普及啓発に力を入れた。



3. 結果

■販売個数は312個に達した。また、SNS (Instagram) 等でアンケートを実施したところ、17名の回答を得た。

1. 今までKAWAI BLACKを知っていましたか？ 知っていた：1 知らなかった16
2. 畿央祭で初めてKAWAI BLACKを知りましたか？ 知った：15 知らない：2
3. 食べてみてどうでしたか？ 美味しかった：16 食べていない：1
4. 食べた人はKAWAI BLACKをまた食べたいと感じましたか？ 食べたい：16 食べたくない：0
5. 自分以外の家族や友人はKAWAI BLACKについて知っていましたか？ 知っていた：2 知らなかった：15
6. KAWAI BLACKに興味をもちましたか？ もった：17 もっていない：0

■連携した河合町から下記のとおり、評価をいただいた。

- ・今季の大和の黒豆KAWAI BLACKの枝豆がずんだペーストになり、それが乗った豆乳ドーナツの美味しさにびっくりしました。当町のPatisserie TRICOさんと学生さんのコラボレシピ、本当に美味しかったです。
- ・この取り組みで町の特産品として育てている大和のくろまめKAWAI BLACKに着目し、こどもからお年寄りまで食べやすいレシピとして学生さんに学園祭でお披露目し、販売していただけたことに感謝しています。
- ・役場からのがんばってほしかったpointとしては、畑にきたり、自分たちで収穫したりと、もっと農家さんともコミュニケーションを取ってほしかったなあということです。

4. 今後の展望

今回、地元河合町のPatisserie TRICO本店と共同でレシピ開発ができたことは、お土産等の地元特産品としての商品化の可能性につながると考えられる。今後は、食育や健康啓発、地産地消の取り組みと結びつけた展開として、TRICO等の地元飲食店や河合町との連携を軸に、通年での定番商品化と、商品化後の販路拡大を目指す。また、今回は時間の関係で地元農家やイベントでの関わりが十分でなかったため、今後は、地元と密接に関わりながら、地域資源を活かした魅力的な商品づくりと、持続可能な食文化の発信につなげていきたいと考える。



5. 結論

食育ボランティアサークル“ヘルスチーム菜良”が、河合町地域特産品である「KAWAI BLACK」を使った、若い世代に普及啓発できる健康志向スイーツの開発に取り組み、新たな価値創出・地域活性化に貢献できたと考える。今後も大学生の発想を活かし、SNSでの発信力をさらに強化し、より多くの方に情報を届ける仕組みづくりに取り組みながら、地域資源を活かした魅力的な商品づくりと販路拡大、普及啓発を目指し、地域貢献につなげていきたい。